



県内経済の動き

概況

〔5月～7月の動き〕

一部に緩やかな持ち直しの兆し。

生産活動は一進一退の動き。大型小売店の総販売額（6月 全店ベース）は3カ月ぶりに前年を下回り、乗用車の販売台数（7月 軽自動車を含む）は、13カ月連続で前年比減少したが、新設住宅着工戸数（6月）は2カ月ぶりに前年比増加した。公共工事（6月 保証対象請負総額）は5カ月連続で前年を下回り、輸出額（6月 細島港）は7カ月連続で前年比増加した。有効求人倍率（6月：1.00倍）は前月比0.01ポイント低下した。

県内経済は、不透明感が残るものの、一部に緩やかな持ち直しの兆しがうかがえる。

（黒木）